

「童画の世界—絵雑誌とその画家たち」関連小展示

平成20年9月20日から平成21年2月15日まで、3階本のミュージアムにて行われた展示会「童画の世界—絵雑誌とその画家たち」に関連した資料を集めて展示しております。

No.	書名 / 著者 (叢書名ほか)	出版者	出版年	請求記号	備考
<b>概説 (出版年順)</b>					
1	解説 (複製絵本絵ばなし集 [25])	ほるぶ出版	1978.3	YZ726.5-フツ25	博文館の編集者であった南部亘国によるカラー図版付きの労作「明治・大正・昭和絵雑誌の流れ」を収載。
2	別冊太陽 日本のこころ 45 絵本	平凡社	1984.3	YZ726.5-エホ	日本の絵本として、大正から昭和にかけて活躍した童画家たちの作品を紹介。また、彼らが影響を受けた、ラッカムやモンヴェルなど世界の絵本作家たちについても紹介されている。
3	子どもの本・1920年代展図録	日本国際児童図書評議会	1991.4	YZ726.5-コド	1920年代の世界の児童書を俯瞰する展示会図録。「コドモノクニ」の創刊(1922年)から1931年までの表紙をカラー掲載するなど、絵雑誌について多くの頁を割いている。
4	はじめて学ぶ日本の絵本史1~3 / 鳥越信編著 (シリーズ・日本の文学史)	ミネルヴァ書房	2001.12~2002.7	YZ726.5-トリ	明治期(1868年~)から現在にいたるまでの絵本の歴史を解説した、日本で初の近代絵本通史。絵雑誌についての章立て・項目も多い。
<b>絵雑誌を中心とした関連書 (出版年順)</b>					
5	幼年絵雑誌の世界: 幼児の教育と子どもの生活の中から / 中村悦子 (就学前教育全書)	高文堂出版社	1989.7	YZ051-ナカ	「子供之友」「コドモノクニ」「キンダーブック」の3誌を中心に、幼年向け絵雑誌が児童に与える影響を考察。
6	月刊保育絵本クロニクル: 絵本に見ることもの背景	日本児童出版美術家連盟	2005.2	YZ726.5-ゲツ	月刊保育絵本雑誌の歩みを「キンダーブック」が創刊された1927年から2004年までの年表方式により、内容の一部をカラー図版で紹介しながら振り返る。
7	こどもパラダイス: 1920-30年代絵雑誌に見るモダン・キッズらいふ / 堀江あき子・谷口朋子 (らんぶの本)	河出書房新社	2005.10	YZ051-ホリ	2005年に弥生美術館で開催された展示会に因んで刊行。絵雑誌に描かれた子どもたちや、同時期に興った児童芸術運動を、カラーを豊富に使って紹介。
<b>童画家を中心とした関連書 (出版年順)</b>					
8	聞き書・日本児童出版美術史 / 上笙一郎編著	太平出版社	1974	YZ726.5-カミ	児童書に携った画家本人またはその関係者27人への聞き取りを行い、「お伽絵」「童画」「抒情画」「密描挿絵」の4項目に再構成した書。
9	日本の童画 第1巻 武内桂舟・川上四郎・本田庄太郎	第一法規出版	1981.11	YZ726.5-ニホ	第1巻「武内桂舟 川上四郎 本田庄太郎」から、第13巻「安野光雅 太田大八 堀内誠一」まで、抒情画家・挿絵画家なども含む45人を幅広く選出。
10	童画のバイオニアたち: 「赤い鳥」「子供之友」「コドモノクニ」の画家 / 茨城県近代美術館 (ファミリー美術館)	茨城県近代美術館	1992	YZ726.5-ドウ	「赤い鳥」「コドモノクニ」などの雑誌に発表された童画家たちの作品を、原画・絵画を交えて紹介した展示会の図録。詳細な年表付き。
11	MOE 21巻4号 (1999年4月号) 巻頭大特集・大正モダン・キッズの絵本作家たち「ようこそ、おとぎの世界へ」	白泉社	1999.3	Z11-1259	大正モダン・キッズの視点から画家10人を選出、現代の絵本作家からみた評価も紹介されている。
<b>複製 (複製) 版でみる童画の世界 (図書) (原本の出版年順)</b>					
12	日本童話選集 / 童話作家協会編 第1輯	大空社	1983.6	YZ918-ニホ	丸善から大正15年から昭和6年にかけて刊行された叢書の複製版。この第1輯が、昭和2年の日本童画家協会発足のきっかけとなった。
13	おもちゃ箱 / 武井武雄 (日本児童文学館: 名著複製. 第2集 19)	ほるぶ出版	1974	YZ918-ニホ	昭和2年に丸善から刊行された叢書「武井武雄画新」全3冊の第2巻。
14	オトギカハリエ ソングクウ / 千葉省三文 川上四郎画 (複製絵本絵ばなし集 [13])	ほるぶ出版	1978.3	YZ726.5-フツ13	昭和5年3月に鈴木仁成堂から刊行された叢書「オトギカハリエ」の一つ。折りたたみ式の仕掛け絵本となっている。
15	たべるトンちゃん / 初山滋 (日本児童文学館: 名著複製. 第2集 27)	ほるぶ出版	1974	YZ918-ニホ	昭和12年に金蘭社から、当時としては珍しく単発で刊行された。
<b>複製 (複製) 版でみる童画の世界 (雑誌) (原本の出版年順)</b>					
16	赤い鳥 複製版 1巻1号 (大7.7)	日本近代文学館	1968	Z13-889	清水良雄が表紙・口絵など全面にわたり手がけている。
17	子供之友 復刻 大正13年3月	婦人之友社	2004	Z32-B187	村山知義による表紙のほか、籌子と共作した「絵ばなし」も掲載されている。
18	岡本婦一傑作集 (複製絵本絵ばなし集 [15]) コドモノクニ傑作集)	ほるぶ出版	1978.3	YZ726.5-フツ15	昭和5年12月に急逝した岡本婦一を追悼し、「コドモノクニ」が臨時増刊号として翌6年5月に刊行。昭和9年4月には第2集も出された。
19	復刻キンダーブック 第8輯第5編 (昭10.8) カハ	フレーベル館	1978.9	YZ051-フツ	昭和37年、当時「こどものとも」編集長だった松居直は、この号をヒントにして、加古里子に同様のテーマで絵本の制作を依頼、出来上がったのが『かわ』である。